

連続講座 全5回
はじめよう
多文化ソーシャルワーク

～第4回 外国人高齢者と介護について～

2020年12月5日（土）
常総市地域包括支援センター
社会福祉士 石引 理子

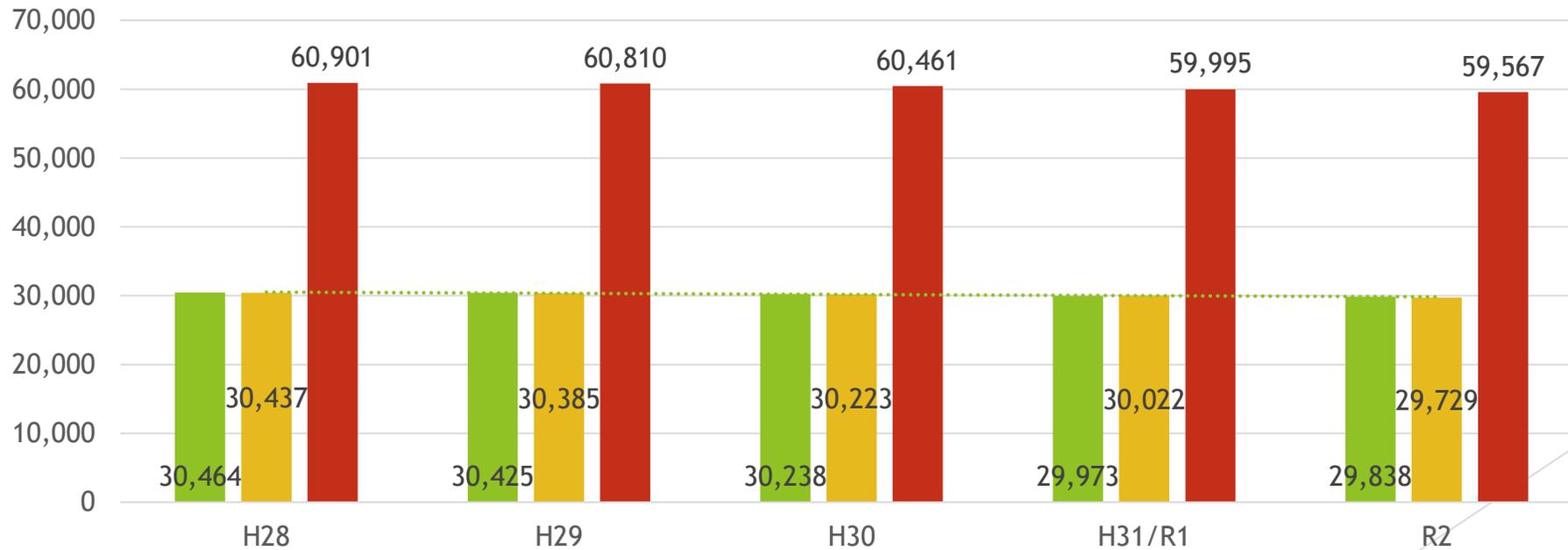
《常総市地域包括支援センター》

- 常総市幸せ長寿課内に基幹型として設置
- 常総市は包括が1ヶ所のみ
- 3係（在宅福祉・介護予防・支援）
- 相談は5名の職員（保健師・社会福祉士等）で対応

常総市の人口

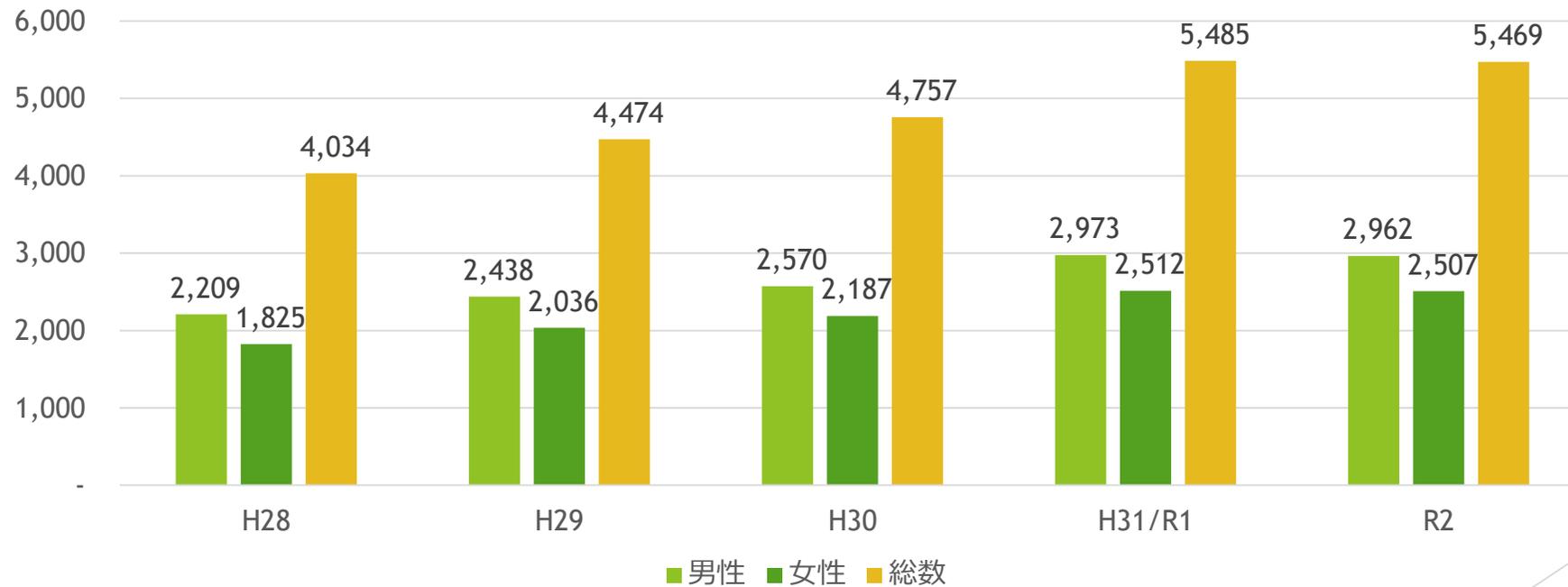
H28～R2年の推移（住基人口より）

■ 男性 ■ 女性 ■ 総数 線形 (男性)



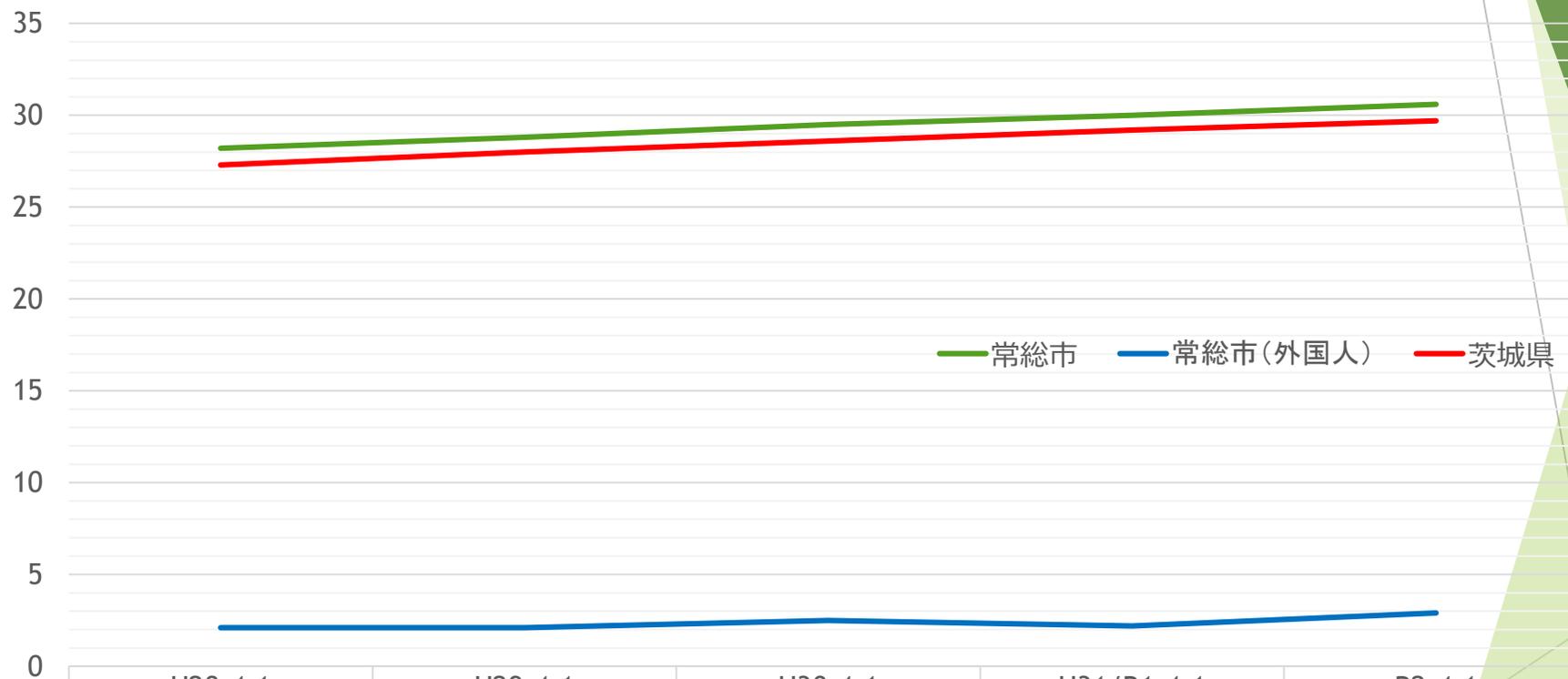
常総市における外国人人口

H28～R2年の推移（住基人口より）



人口から見える高齢化率

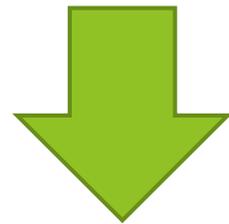
高齢化率



	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31/R1.4.1	R2.4.1
常総市	28.2	28.8	29.5	30	30.6
常総市(外国人)	2.1	2.1	2.5	2.2	2.9
茨城県	27.3	28	28.6	29.2	29.7

外国人支援の課題って？

- ◆ 介護や医療の専門用語をどう伝えるか？
- ◆ どうやってサービス利用につなげる？
- ◆ 受け入れ先のサービスが見つかるか？



いろいろあるけど・・・

現時点での外国人支援の課題は『言葉』
『コミュニケーション』がメイン

相談ケース①～概要～

【相談者】 病院ソーシャルワーカー

【対象者】 50代 女性 ブラジル国籍

【家族構成】 本人・夫・娘・孫の4人暮らし

【現状】 双極性障害で入院中。今までにも入退院を繰り返している。
娘との関係性が精神状況に大きく関連している。本人は日本語があまり話せず地域等との関りが希薄。相談先が病院ソーシャルワーカーのみで、状況によっては頻回な相談が入っている。

【相談内容】 本人の相談先が病院の担当ソーシャルワーカーのみの現状。
地域でも相談支援の体制作りの調整を支援してほしい。

相談ケース①～対応～

【包括の対応】

- ◆ 在宅復帰後に支援できる体制を整えられるように、退院前カンファレンスへ関係者の出席を要請。

《関係者》

- ※社会福祉課障がい福祉係
- ※NPO法人 commons
- ※障がい福祉サービス計画支援員
- ※地域包括支援センター
- ※訪問看護ステーション（精神障害対応）

通常が多職種連携に加え、**commons**に依頼することで地域での居場所作りのインフォーマルサービスにつなげることができた。

相談ケース②～概要～

【相談者】 市民（ブラジル国籍外国人登録者） 50代 女性

【家族構成】 相談者・母（70代後半）・娘（10代 学生）

【相談内容】 窓口での来庁相談。

相談者は日系ブラジル人3世。日系2世の母は若いころには日本で働いていたが、60才頃にブラジルへ帰国。

ブラジルで同居していた家族が亡くなり、日本へ呼び寄せた。ブラジルでデイサービスを利用していたので、日本でも利用したい。どう手続きをすればいいか？

【意思疎通】 相談者→日本語はあいさつ程度のみ。読み書きはできない。

相談者の母→日本語は簡単な日常会話程度は話せる。

読み書きはできない。

相談ケース②～対応～

【包括の対応】

(認定申請)

- ◆ 窓口の来庁相談のため、市の通訳に支援を依頼。

(認定調査)

- ◆ 通訳がいないと困難であり、申請と同時に窓口で対応。

(認定結果)

- ◆ 書面通知のみでは読めないため、窓口来庁してもらい通訳同席のうえ結果を説明。

(居宅契約)

- ◆ 契約内容説明のため、通訳の同行を依頼。訪問し契約実施。

相談に至らないこともある

- ◆ 相談者：病院ソーシャルワーカー
- ◆ 対象者：パキスタン国籍 50代 男性
- ◆ 対象者の状況：脳梗塞で入院中。左軽度マヒがあり杖歩行。今後退院して在宅復帰するが、介護保険サービスの申請を希望する可能性あり。日本語力は日常会話程度で読み書きは困難。
- ◆ 相談内容：公的支援についての説明と申請希望時の手続き支援を依頼したい。



対象者は包括に相談したか？

退院後しばらく経っても相談が入らず。対象者に連絡し様子を確認。
パキスタン人のコミュニティがあり、「自助」で生活再建。

今後の支援の在り方とは？

- ◆今のところは「言葉の壁」の支援に奔走している
- ◆コミュニケーションが図れた先にあるもの
- ◆その人らしい『生き方』をどう支えるのか
- ◆生活の現場での支援に求められる支援の在り方

『多文化ソーシャルワーク』

- ◆ 多様な文化的背景を持つクライアントに対するソーシャルワーク
- ◆ クライアントが自分の文化と異なる環境に移住、生活することにより生じる心理的・社会的問題に対応するソーシャルワーク
- ◆ クライアントとワーカーが異なる文化に属する援助関係において行われるソーシャルワーク

《参考文献》

- ・石河久美子著『多文化ソーシャルワークの理論と実践ー外国人支援者に求められるスキルと役割』明石書店 2012年

ご清聴ありがとうございました。